

早稲田大学 様	全体概要	AVシステム事業部	A-202	1/4
			文化・教育施設	

パソコンテレビ会議システムを使用して、英会話能力を向上させる

テレミートPC英語学習システム — 早稲田大学 様



8階建てで、全教室マルチメディア対応の36号館

早稲田大学では、急速に進む国際化に対応し、これからの社会で活躍する人材を育成するため、キャンパスの情報環境整備に取り組んでいます。その一環として、1999年9月に、全教室がマルチメディア対応である36号館が、文学部に完成しました。4階には、MM(マルチメディア)1・2教室、準備室が設置され、MM1教室はテレミートPCを使用した英語学習教室、MM2教室はコンピューター教室として稼働。MM1・2教室は、授業はもちろん昼休みなどの空き時間も、多くの学生に自習用として利用されています。

施 主：早稲田大学
 所 在 地：東京都新宿区戸山1-24-1
 納入年月：1999年(平成11年)9月
 納 入：株式会社東和エンジニアリング
 松下電器産業株式会社 公共システム営業本部

システムの概要

MM1教室の各端末にはテレミートPCを採用し、ISDN経路でチュータールーム、早稲田大学国際部、海外協力大学とつながっています。学生は、PC用小型カメラによる映像と、ヘッドセットのマイクを通じた音声および「CU-SeeMe」で、チューターやネイティブの学生とリアルタイムにコミュニケーションをとることが可能です。インターネットはLAN経路で使用し、パソコン教室としての利用もできます。空き時間は開放されており、学生は予約端末から、使いたい端末・時間帯を予約して使用します。MM2教室はパソコン教室・視聴覚教室として利用されます。空き時間は学生が自由に予約なしで使用できます。



教師用マスター卓。視聴覚機器の操作を一括しておこなえます



MM1教室。PC用小型カメラが、リアルタイムのコミュニケーションを可能にします

早稲田大学 様	システムの特長	AVシステム事業部	A-202	2/4
			文化・教育施設	

システムの特長

MM1 教室（学生端末 42 台・ヘッドセット付）

テレミートPC を核とした 5 つの機能で、学習を多面的にサポートします。

チューター制授業（端末 20 台）

チューター 1 人对学生 4 人で、英語学習プログラムを実施。画面上には、チューターと学生 4 人の顔が映し出され、授業がおこなわれます。映像と音声でリアルタイムの英会話を交わすことにより、英会話能力を向上させます。ネットミーティングでチャットやデータのやり取りも可能です。

国際部との対話学習（端末 10 台）

早稲田大学国際部のネイティブの学生と 1 対 1 で、映像と音声を通じての対話学習が可能です。ネットミーティングでチャットやデータのやり取りも可能です。

海外協力大学との対話学習（端末 12 台）

海外協力大学の学生と 1 対 1 で、映像と音声を通じて対話学習をおこなえます。ただし、インターネットのみでつながっている大学については、映像とチャットで対話をおこないません。さまざまな国に住む同世代の学生と交流を持つことにより、英会話能力の上達はもちろん、文化や考え方の違いなどを学び視野が広がります。現在、フィリピンのデラサール大学、韓国の高麗大学、マレーシアのマラヤ大学、イギリスのエセックス大学と交流可能で、今後さらに協力大学を増やしていく予定です。

視聴覚教室としての利用

視聴覚教室として、VTR、DVD、LD、OHC 機器を利用した集中講義が可能です。これらの機器の操作は教師用マスター卓でおこなえます。

学生の個別利用

空き時間は学生に開放されており、学生は教室後方の予約端末から空席状況を確認し、使いたい端末・時間に予約を入れて使用。空席状況は、廊下のプラズマディスプレイにも表示されます。モニターの切り替えにより、VTR の試聴も可能です。



画面上には、自分の顔と先生の顔、一緒に授業を受けている学生の顔が映し出されます



MM1 教室でのチューター授業風景

英語学習のチューターは、1 人で 4 名の学生を受け持ちます





廊下の空席状況表示パネル



MM1 教室後方の予約PC



準備室の各種サーバー



準備室の機器ラック。中央の監視モニターでは、MM1・2教室の様子を見ることができます



MM2 教室。学生端末は 48 台



チュータールームのなかの機器ラック。MCUが5台収納されています

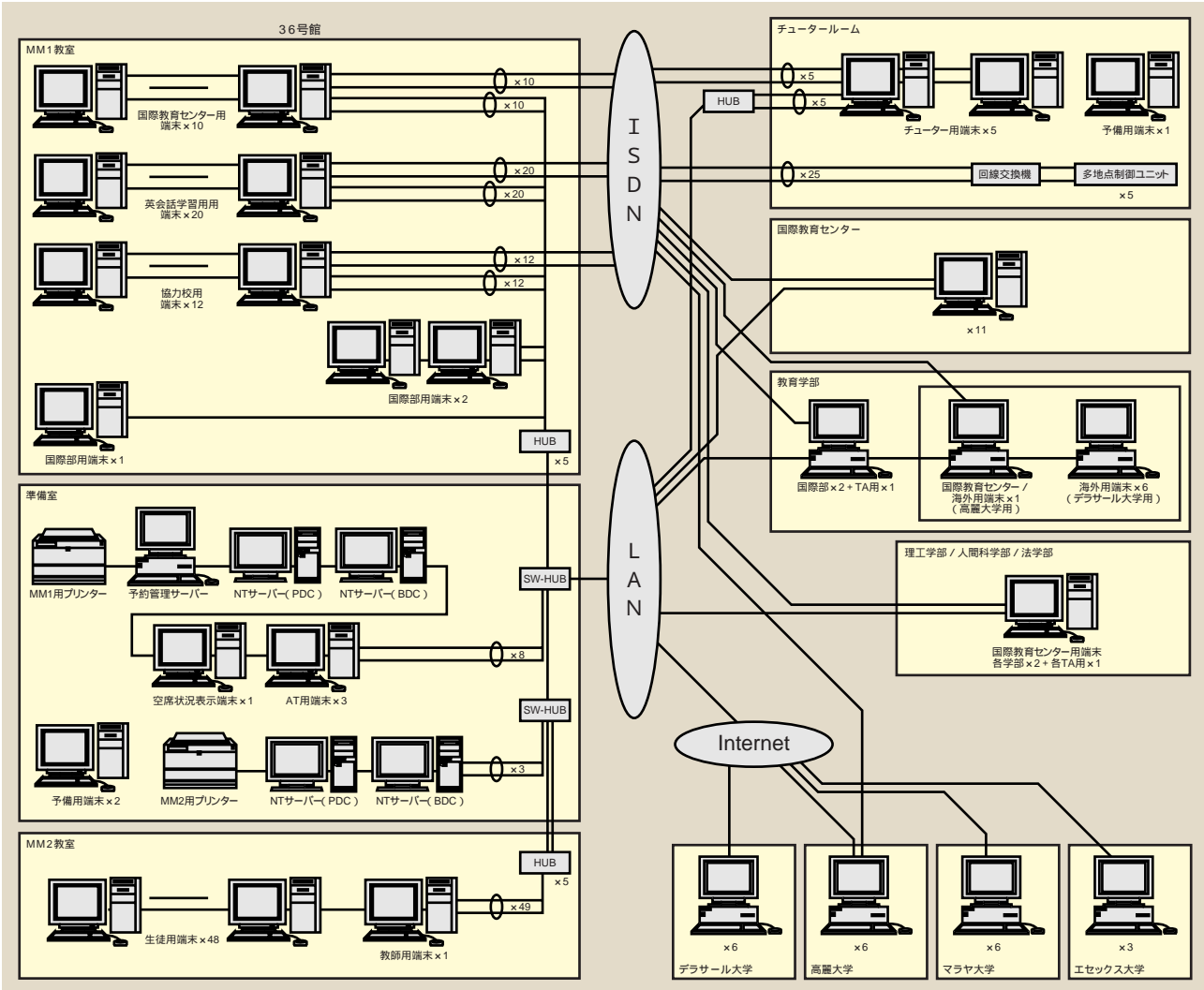
MM2 教室（学生端末 48 台・ヘッドセット付）

コンピューター教室または視聴覚教室として利用されます。各パソコンはLANに接続しています。教師用マスター卓からVTR、DVD、LD、OHC機器を利用した集中講義が可能です。空き時間は生徒に開放されています。

準備室

NTサーバー(3台)、予約管理システムサーバー(1台)、空席状況表示用パソコン(1台)、TA・保守用端末、MM1・2教室教師端末用プリンター(各1台)が設置されているほか、ダビング編集設備、監視カメラモニター設備もあります。

システム図



おもな納入機器

MM1 教室		予約用端末	
マスターシステム		予約用端末パソコン	2
マスター卓	1	15型液晶ディスプレイ	2
教師用パソコン	1	空席状況表示パネル	
15型液晶ディスプレイ	1	42型プラズマディスプレイ	2
ヘッドセット	1	機器収納ラック	
ビデオデッキ	1	VPコントローラー	1
DVD・LDコンパチプレーヤー	1	ステレオミキサー	1
MD	1	2chワイヤレス受信機	1
ステレオダブルカセット	1	チューナーユニット	1
ビデオキャプション	2	パワーアンプ	1
有線マイク	1	制御ユニット	1
卓上型マイクロホンスタンド	1	その他関連機器	
ブースシステム		ハンド型ワイヤレスマイク	1
ブース卓	42	タイピン型ワイヤレスマイク	1
学生用パソコン	42	ワイヤレスアンテナ	2
15型液晶ディスプレイ	42	メインスピーカー	2
遠隔教育ボード	42	ドーム型カメラ	2
PC用カラーカメラ	42		
ヘッドセット	42	準備室	
ビデオデッキ	42	予約サーバー	一式
入力切替ユニット	42	Windows NTサーバー	一式
コンバーター	42	空席表示用パソコン	一式
ビデオキャプション	42	TA・予約用パソコン	一式